

「健康・医療心理学」受講生の皆様

お詫びと訂正

このたびは、弊社講座を受講いただきましてありがとうございます。

「健康・医療心理学」の問題演習と演習解説講義のテキスト及び講義内容に、下記の通り表記の誤りがありましたので、訂正させていただきます。

ご指摘いただいた方々にはお礼申し上げますとともに、皆様にはご迷惑をおかけいたしましたことをお詫びいたします。

記

問題演習

・問 13 事例中

「運動をしようと思って、ウェアを買った。でもジムに行くのは何となく気おくれしてしまう。」

↓

「運動をしようと思って、ウェアを買ったが、ジムに行こうか迷っている。昨日は夜に 30 分ほど歩いてみた。」に訂正

※解説冊子にある通り、訂正前の事例文であっても、何らかの行動を起こしていることに変わりはありませんので、正解には影響しません。

・問 18 選択肢②「15 歳～38 歳」→「15 歳～39 歳」に訂正

※訂正前の文では、②の選択肢も誤りとなり、正答（間違っているもの）が②④の 2 つ存在することになっておりました。大変ご迷惑をおかけしました。また、この問題に関しましては、下部の補足もご参照いただければ幸いです。

・問 25 選択肢④「診療内科」→「心療内科」に訂正

以上

京都コムニタス

補足：地域若者サポートステーションの対象年齢について

問 18 の選択肢②にある地域若者サポートステーション（通称：サポステ）に関して、対象年齢は 15 歳～39 歳なのですが、2020 年（令和 2 年）4 月から、内閣府主導の「就職氷河期世代支援プログラム」の一環として、対象が 15 歳～49 歳に拡大されております。このプログラムは 2022 年（令和 4 年）度までの集中支援として行われており、2023 年（令和 5 年）度以降、サポステの対象年齢が元の 15 歳～39 歳に戻るのか、49 歳までで継続するのかは未定です。

第 5 回公認心理師試験（2022 年 7 月）の時点では、対象年齢は 49 歳までですので、問題として現在の対象年齢を問われた場合は 49 歳までが正しい、と理解していただければ幸いです。同時に、基本的には 39 歳までである、ということも、今後の臨床活動のために念頭においていただければ幸いです。